

(令和元年度事業報告)

令和元年度事業計画の進捗状況一覧表

本部事務局

No.	令和元年度事業計画 〔具体的な事業計画(目標)〕	計画の達成度				目標達成に向けての課題等
		順調	ほぼ順調である	やや遅れている	遅れている	
1	「安定した経営」		○			・令和元年度は法人全体で黒字計上となっています。しかし、社会福祉事業全体は黒字計上ですが公益事業全体は赤字計上となっています。令和元年8月に中長期検討委員会の最終報告をとりまとめ、11月にプロジェクトチームを発足させて、課題を取り組んできています。又、ここ数年赤字であった医療関係は黒字計上となっています。しかし、厳しい経営状況が続いているため、この黒字計上を長く続けられるようには方策を練り、実行し厳しい経営から脱却できるように役職員一同鋭意努力していきます。
	①安定した収入の確保		○			・令和元年度は医療関係と介護施設の一部が黒字経営となっています。しかし、まだ安定した収入の確保ができていない状況にあります。今後も安定した収入を確保し、地域に根付いた施設として信頼を得て、公益的な取組の推進を図っていきます。
	②経費節減	○				・今後とも全施設においてさらなる経費削減に取り組んでいきます。
	③サービスの質の向上		○			・社会福祉法人の使命である利用者のニーズに対応できるようにサービスの質の向上を図っていくことが、今後も重要な課題となっています。そのためにはサービスの質の向上を目指すために研修会等に参加するなどして、日々取り組んでいきます。
	④中長期検討委員会での問題点と今後の課題の抽出及び課題	○				・令和元年8月の理事会で中長期検討委員会での報告書が承認され、評議員及び各施設の施設長に配付し、同年11月にプロジェクトチームを発足させ、関係施設は問題点を抽出し、課題を取り組んでいます。その結果、黒字を計上した施設が出てきています。しかし、この状況が続けることが大切なことです。
	⑤会計ソフトの稼働と法人本部事務局の強化		○			・令和元年7月から会計ソフトの統一に向けて各施設及び本部事務局で取り組んできています。新会計システムで令和2年度予算及び令和元年決算をスタートさせています。本部事務局は今後ともスムーズに移動できるように取り組んでいきます。
⑥関係施設間の連携及び情報収集		○			・今後とも神栖支部・東村山支部での各施設合同会議等で積極的な連携や情報収集を実施し、安定した経営に繋げるために各施設の役割を果たしていきます。さらに地域社会に信頼される法人・施設として取り組んでいきます。	
2	「地域における公益的取組を実施する責務」		○			・責任を果たすべく地域のニーズに応じるために実施していきます。行政や協議会等と今後とも協力し、独自の福祉サービス等を提供できるようにシステム等を構築していくとともに、地域社会に貢献できるような法人・施設を確立していきます。
	①地域と連動した施設づくり		○			・少子高齢化などの変化に対応できるように、当法人の福祉・医療サービスの連携を図り、地域から信頼される施設として今後とも構築していくことが必要です。さらに地域のニーズに応える施設づくりを実施していきたい。
	②災害時の地域住民や関係機関との連携		○			・福祉施設等は災害時の地域の要援護者支援という点で大きな役割が求められています。そのため災害発生時は行政や関係機関と地域との役割を分担して対応していかなければならない。一部の施設は地域の避難所とし、関係機関と連携し、地域住民の支援を行います。
	③安全で安心できる施設		○			・地域のニーズに応える福祉・医療サービスを提供できる安全で安心できる施設を目指している。そのために質の高いサービスを提供できるように施設を目指しています。
	④ホームページの活用		○			・情報開示の点からホームページの活用が今後一層必要となることから、充実を図っていきます。